



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7224 URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 広報・IR部長 (氏名) 実平 典子 (TEL) 0798-56-5002
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	44,806	△8.3	1,322	△39.8	1,519	△28.5	591	△50.8
2020年3月期第1四半期	48,869	5.9	2,198	65.6	2,125	39.5	1,203	△23.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,099百万円(10.6%) 2020年3月期第1四半期 993百万円(15.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	9.00	—
2020年3月期第1四半期	18.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	203,596	83,398	40.6
2020年3月期	214,157	83,680	38.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 82,649百万円 2020年3月期 82,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	66.00	—	21.00	87.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	△7.6	8,500	△33.8	8,700	△29.7	5,000	△32.2	76.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	70,000,000株	2020年3月期	70,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,254,899株	2020年3月期	4,254,897株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	65,745,102株	2020年3月期1Q	65,188,303株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、国内外における移動制限や生産活動の一時休止など、経済活動の大幅制限を余儀なくされた結果、国内景気が急速に悪化するなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、3カ年の中期経営計画の最終年度を迎え、厳しい制約条件の下、当初掲げた諸施策について、可能な範囲で推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い営業及び生産活動が低調に推移した影響により、受注高は46,552百万円(前年同期比14.4%減)、売上高は44,806百万円(同8.3%減)となりました。なお、当第1四半期末の受注残高は173,051百万円(同5.4%減)であります。

損益面は、営業利益は1,322百万円(同39.8%減)、経常利益は1,519百万円(同28.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は591百万円(同50.8%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。

(航空機)

防衛省向けは、受注、売上ともに増加いたしました。

また、民需関連は、受注は減少し、売上もボーイング社向け製品の生産ラインを一時休止したことから減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は1,985百万円(前年同期比11.6%減)、売上高は5,889百万円(同34.6%減)となり、営業損益は136百万円の損失(前年同期は792百万円の利益)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は36,698百万円(前年同期比13.5%減)であります。

(特装車)

車体等の製造販売は、受注、売上ともに減少いたしました。

また、保守・修理事業及び林業用機械等も、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は23,201百万円(前年同期比20.6%減)、売上高は21,170百万円(同2.1%減)となり、営業利益は1,601百万円(同1.2%減)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は63,040百万円(同1.3%増)であります。

(産機・環境システム)

流体製品は、ポンプなどの機器を中心に受注が減少したものの、売上は増加いたしました。

また、メカトロニクス製品は、自動電線処理機、真空製品、いずれも受注及び売上が減少した結果、分野全体でも受注、売上ともに減少いたしました。

このほか、環境関連事業は、受注はプラント事業の新設案件の寄与等により増加し、売上も増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は8,880百万円(前年同期比7.3%減)、売上高は6,455百万円(同4.9%減)となり、営業損益は264百万円の損失(前年同期は453百万円の損失)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は22,615百万円(前年同期比20.1%増)であります。

(パーキングシステム)

機械式駐車設備は、新設案件の受注が好調だった前期に比べ、受注、売上ともに減少いたしました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は7,610百万円(前年同期比24.9%減)、売上高は7,254百万円(同10.2%減)となり、営業利益は622百万円(同13.5%減)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は40,269百万円(同8.6%減)であります。

(その他)

建設事業において、受注、売上ともに増加した結果、当セグメントの受注高は4,873百万円(前年同期比51.8%増)、売上高は4,035百万円(同19.2%増)となり、営業利益は215百万円(同47.3%増)となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は10,427百万円(同32.2%減)であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、たな卸資産は増加したものの売上債権を回収したことなどにより前連結会計年度末に比べて10,561百万円減少し203,596百万円となりました。負債は、仕入債務の減少や法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べて10,280百万円減少し120,197百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いなどにより前連結会計年度末に比べて281百万円減少し83,398百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の38.7%から40.6%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、未定としていましたが、通期の連結業績予想、並びに配当予想を記載しています。

なお、詳細につきましては、本日別途公表しました「連結業績予想及び配当予想、並びに中期経営計画の業績目標修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,342	19,854
受取手形及び売掛金	67,223	52,354
電子記録債権	14,532	14,104
商品及び製品	3,808	4,314
仕掛品	18,562	21,528
原材料及び貯蔵品	20,127	21,378
その他	3,932	3,794
貸倒引当金	△71	△68
流動資産合計	147,457	137,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,306	18,171
その他（純額）	22,765	20,783
有形固定資産合計	38,072	38,954
無形固定資産		
	2,550	2,445
投資その他の資産		
その他	26,109	24,966
貸倒引当金	△32	△31
投資その他の資産合計	26,077	24,934
固定資産合計	66,700	66,334
資産合計	214,157	203,596

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,464	21,679
1年内償還予定の社債	800	800
短期借入金	1,946	2,176
1年内返済予定の長期借入金	2,433	2,367
未払法人税等	2,366	271
工事損失引当金	3,961	3,981
その他	24,551	23,081
流動負債合計	63,524	54,358
固定負債		
社債	3,200	3,000
長期借入金	49,187	48,365
退職給付に係る負債	12,772	12,620
その他	1,793	1,852
固定負債合計	66,953	65,838
負債合計	130,477	120,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,780	15,780
利益剰余金	58,587	57,798
自己株式	△6,081	△6,081
株主資本合計	84,268	83,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	541	803
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	△48	△62
退職給付に係る調整累計額	△1,439	△1,194
その他の包括利益累計額合計	△1,322	△830
非支配株主持分	734	749
純資産合計	83,680	83,398
負債純資産合計	214,157	203,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	48,869	44,806
売上原価	41,399	38,323
売上総利益	7,469	6,482
販売費及び一般管理費	5,270	5,159
営業利益	2,198	1,322
営業外収益		
受取利息	4	11
受取配当金	95	263
為替差益	—	79
その他	85	54
営業外収益合計	185	408
営業外費用		
支払利息	72	53
持分法による投資損失	31	71
為替差損	54	—
休止固定資産費用	7	12
借入手数料	3	40
債権流動化費用	74	14
その他	15	19
営業外費用合計	258	211
経常利益	2,125	1,519
特別利益		
負ののれん発生益	—	90
特別利益合計	—	90
特別損失		
固定資産売却損	15	—
固定資産処分損	248	39
新型コロナウイルス感染症による損失	—	659
特別損失合計	264	699
税金等調整前四半期純利益	1,861	910
法人税、住民税及び事業税	304	238
法人税等調整額	448	15
法人税等合計	752	254
四半期純利益	1,108	656
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△95	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,203	591

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,108	656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△195	261
為替換算調整勘定	△0	△27
退職給付に係る調整額	61	244
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△36
その他の包括利益合計	△114	442
四半期包括利益	993	1,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,093	1,083
非支配株主に係る四半期包括利益	△99	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	9,001	21,613	6,787	8,079	45,482	3,386	48,869	—	48,869
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1	2	2	6	480	487	△487	—
計	9,001	21,615	6,790	8,082	45,488	3,867	49,356	△487	48,869
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	792	1,620	△453	720	2,679	146	2,825	△627	2,198

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△627百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△632百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,889	21,170	6,455	7,254	40,770	4,035	44,806	—	44,806
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	0	1	2	5	531	537	△537	—
計	5,889	21,170	6,457	7,257	40,775	4,567	45,343	△537	44,806
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	△136	1,601	△264	622	1,824	215	2,039	△716	1,322

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△716百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△731百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。